

トヨタ純正

サイドバイザー

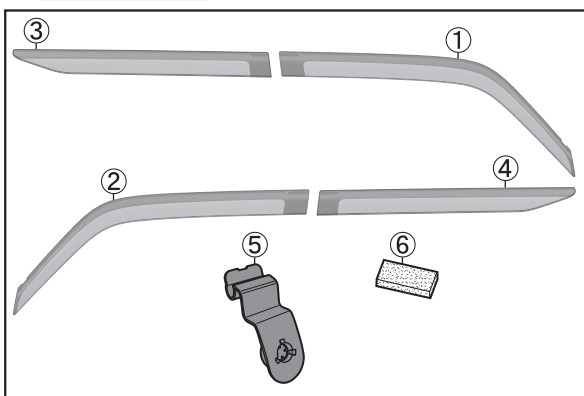
取付要領書

このたびは、トヨタ純正サイドバイザーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、サイドバイザーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番

08612-60120

構成部品



補給部品

No	品名	品番	個数
①	サイドバイザー	RH 08163-60121	①×1、⑤×2、⑥×1
②	(フロント)	LH 08163-60122	②×1、⑤×2、⑥×1
③	サイドバイザー	RH 08163-60125	③×1、⑤×2、⑥×1
④	(リヤ)	LH 08163-60126	④×1、⑤×2、⑥×1
⑤	ブラケット	08163-02530	⑤×8
⑥	シーラー		⑥×4

取り付けに必要な工具等

ウェス、脱脂剤等【イソプロピルアルコール(IPA)純度100%推奨】ドライヤー、スケール、マスキングテープ

取り付け時の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

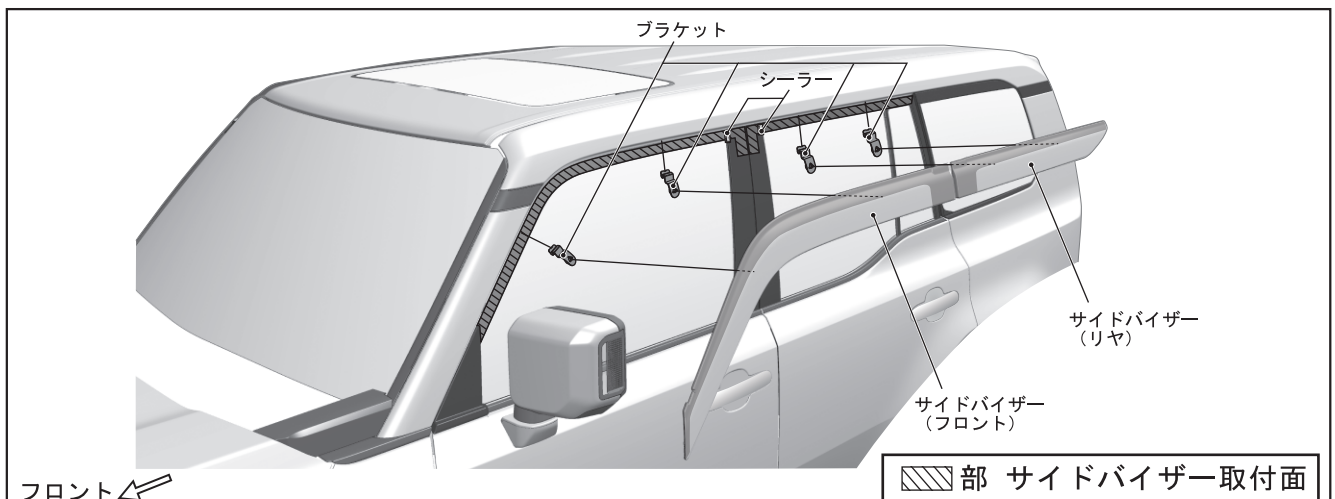
▲ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しています。

■ 注意 … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています。

🔊 アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

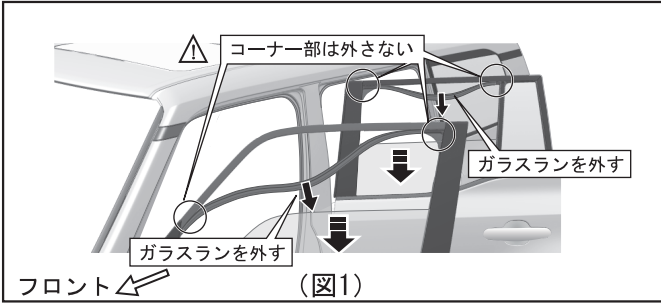
(1) 脱脂剤等を使用される場合は、火気に十分注意してください。

取付概要



取付要領

本取付要領は左側を示します。右側も同様に行ってください。

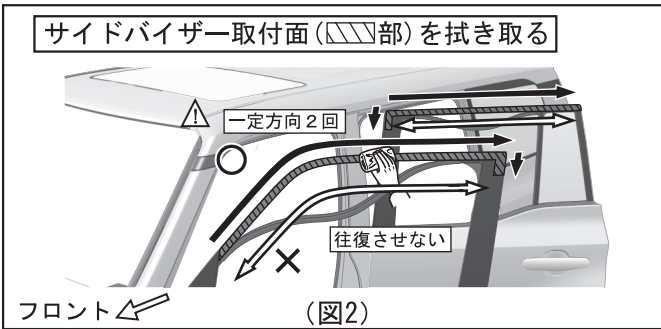


・取付面の拭き取り

- (1) ドアを開け、窓ガラスを下げ、ガラスランを取り外す。(図1)

注意

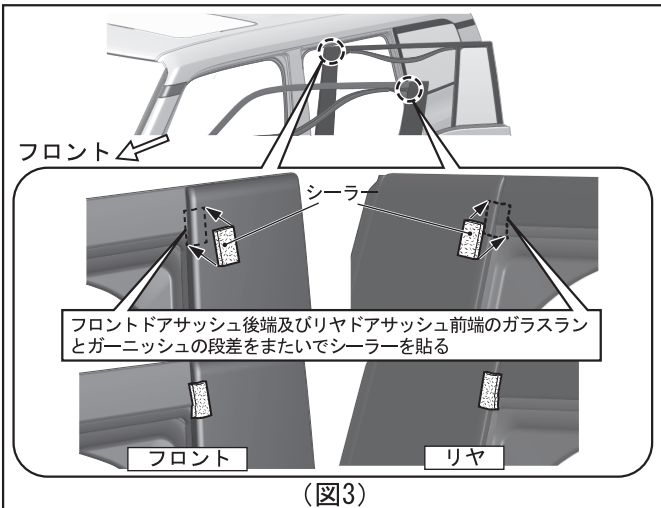
- ・ガラスランはコーナ部を外すと復元が困難になりますので外さないよう手で押さえて作業を行ってください。



- (2) サイドバイザー取付面(ハatched部)の水分、汚れや油分を脱脂剤等で確実に拭き取る。(図2)

注意

- ・取付面の拭き取り作業は必ず行ってください。拭き取りが不十分な場合、剥がれ、水入り、異音発生の原因となります。往復の拭き取りは行わず、一定方向に2回以上拭き取りを行ってください。

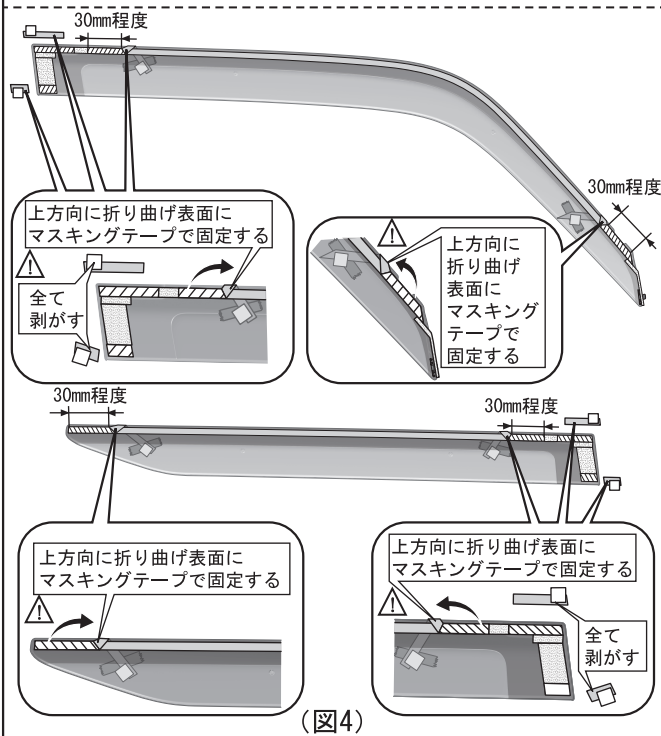


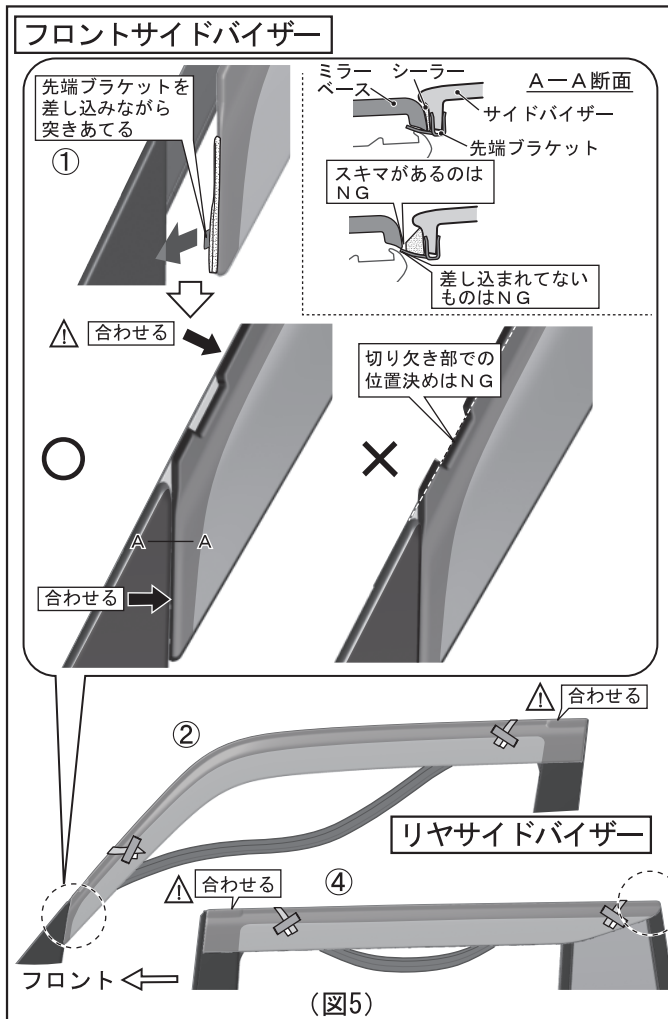
・取り付け前準備

- (1) フロントドアサッシュ後端及びリヤドアサッシュ前端のガラスランとガーニッシュの段差をまたいでシーラーを貼る。(図3)
- (2) 両面テープ離型紙を指示のようにめくり、サイドバイザー表面にマスキングテープで固定する。(図4)

注意

- ・両面テープ離型紙は、必ずサイドバイザー上方向に折り曲げてください。下方向に折り曲げますとサイドバイザー接着の際、ブラケットが邪魔になり剥がせなくなります。





・サイドバイザーの位置決め

フロントサイドバイザー

- ① サイドバイザー前端をミラーベースと隙間が無いように突き当て、上端をドアサッシュ外周に合わせ、仮接着する。(図5)
- ② サイドバイザー上端をドアサッシュ外周に合わせ、仮接着する。(図5)

▲ 注意

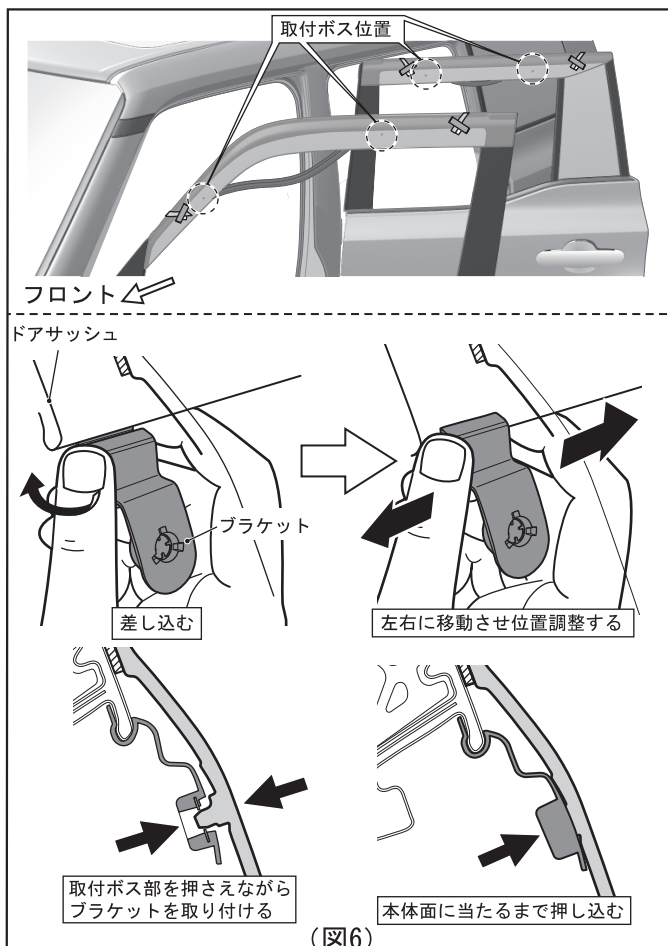
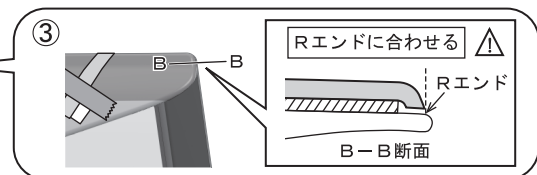
- ・ サイドバイザー後端をはみ出して取り付けますと、車両との干渉やケガをする恐れがあります。

リヤサイドバイザー

- ③ サイドバイザー後端を車両末端のRエンドに合わせ、仮接着する。(図5)
- ④ サイドバイザー上端をドアサッシュ外周に合わせ、仮接着する。(図5)

▲ 注意

- ・ サイドバイザー前端及び後端をはみ出して取り付けますと、車両との干渉やケガをする恐れがあります。

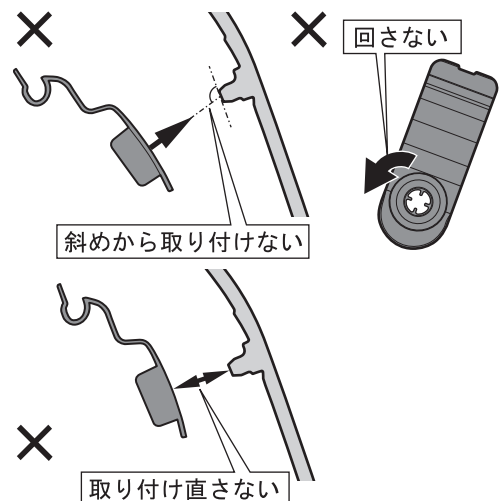


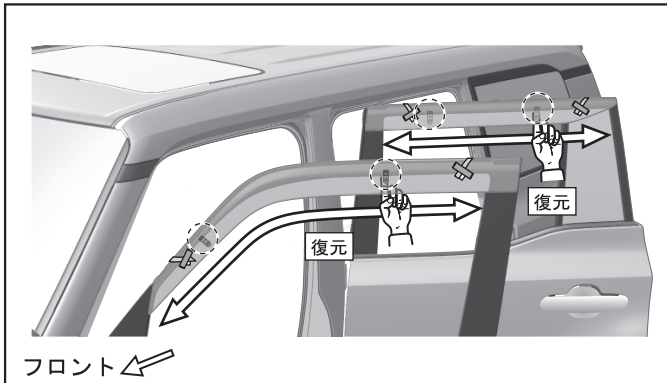
・ブラケットの固定

- ブラケットをドアサッシュに差し込み、本体と裏面の取付ボスの位置を合わせ、取付ボスにブラケットを取り付ける。(図6)

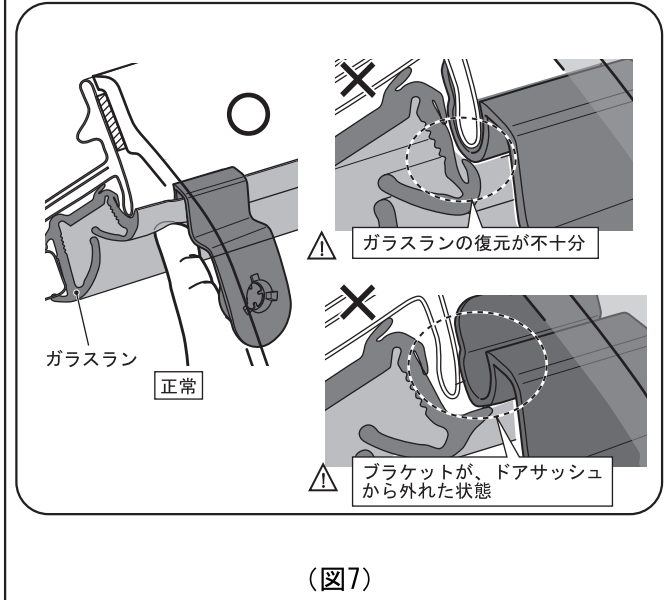
注意

- ・ 斜め方向からの無理な差し込みは、取付ボス破損の原因となります。
- ・ ブラケットは、回したり取り付け直すと外れる原因となります。





フロント



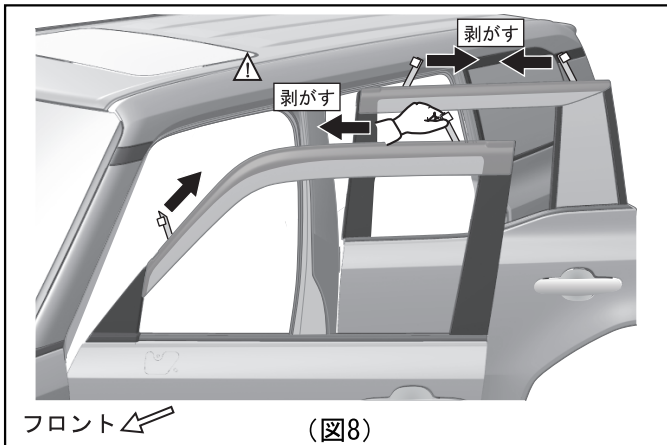
(図7)

・ガラスランの復元

- (1) ガラスランをはめ込み、ドアサッシュ、ブラケットになじませる。(図7)

注意

- ・ブラケットがドアサッシュから外れた状態でガラスランをはめ込まないでください。ガラスランの復元が不十分だと、ガラスラン噛み込みや、ブラケット外れの原因となります。



フロント

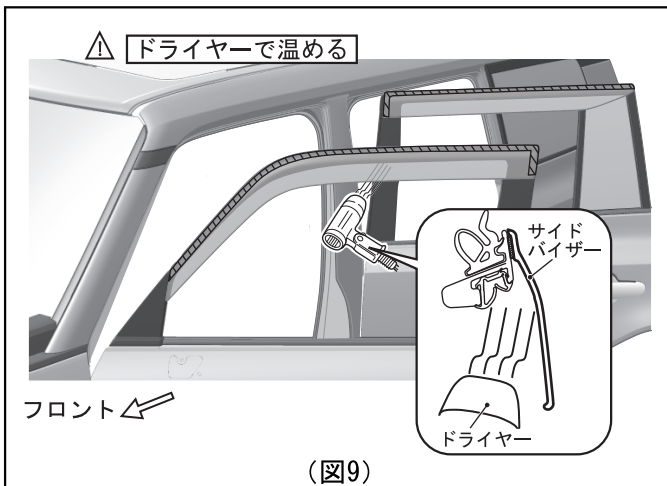
(図8)

・サイドバイザーの接着

- (1) サイドバイザーの位置決めが確実にされている事を確認する。
- (2) ねじれないよう離型紙を剥がし、サイドバイザーを接着する。(図8)

注意

- ・ずれた状態で取り付けますと、車両との干渉、剥がれ、水入り、異音発生の原因となります。



フロント

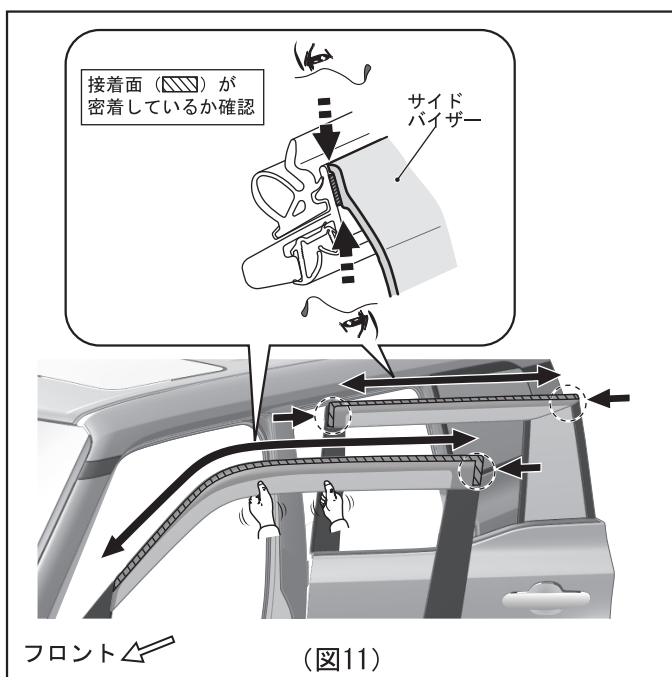
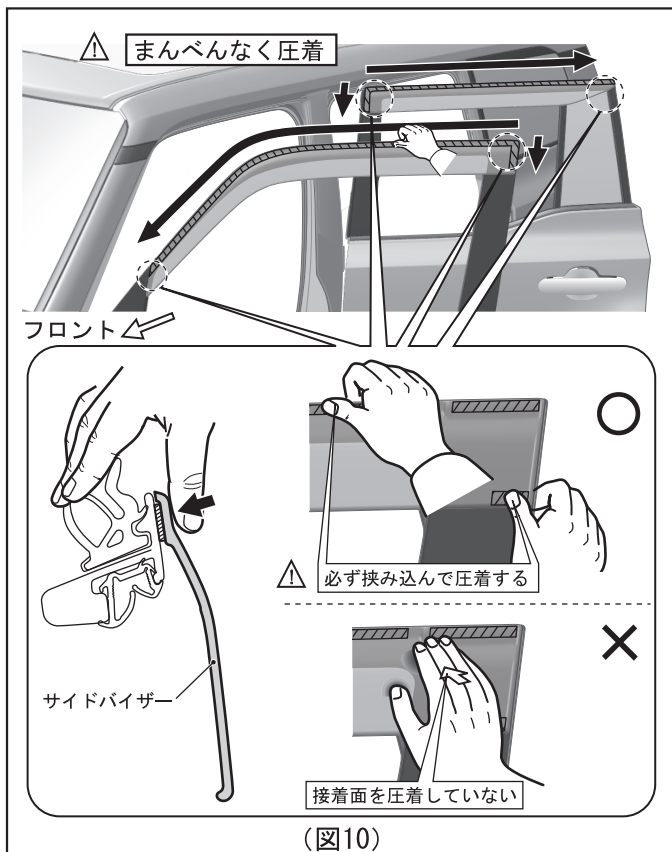
(図9)

・接着面の加温

- (1) 両面テープ接着面(□部)を、まんべんなくドライヤーで約30秒間、人肌(約40℃)程度に温める。(図9)

注意

- ・やけどには十分に注意して作業してください。



・接着面の加温及び圧着

- (1) 手で挟みこむように49N以上の力(少なくとも車両が揺れる程度)で圧着する。(図10)

注意

- ・両面テープ接着面(斜線部)、特に前端や後端(○部)は、確実に圧着してください。圧着不足で浮いた状態の場合、剥がれ、水入り、異音発生の原因となります。

△ 注意

- ・圧着不足で浮いた状態の場合、ケガの原因となります。

・取り付け後の確認

- (1) サイドバイザーを上下、前端と後端(○部)からのぞき込み、両面テープ接着面(斜線部)が取付面全体に密着しているか確認する。(図11)
- (2) サイドバイザーを軽く手前に引き、確実に取り付いている事を確認する。(図11)

注意

- ・取り付け後20分程度は、雨、水等でぬれないように必ず放置してください。両面テープ剥がれの原因となります。